御休み所花隆亭の理觀を差許。記念さして献上した吹上御苑

花蔭亭拜觀

を受て出致したが、右郷藤總督の野田が高いてある。「株に関する神経をが配に以来総督の野、説が内戦をが配に以来総督の野、説が内戦をが配に以来総督の野、説が内戦をが配に

男退が實現せば

後任は宇垣大將

一應留任を勸告せん

三、三日ん変

立るから整理

あり一同は午後二時代

粉線監大妻、本府各局 長 ・愛川婦人会朝館本科会員 ・愛川婦人会朝館本科会員

は大人、近藤松書派長七里殿なご は大人、近藤松書派長七里殿なご 常同、艦々二日午前十時京城縣 でまたいた、霧頭には

午宮サン参内野印殿と参へとおき、郷風内移名局長同道にて、郷風内移名局長同道にてい

齋藤總督り

で東上

のう

大がいてして がいてして の小職軍称展長 の小職軍称展長 の小職軍称展長

知事はシルクハットにフロ



兩廣獨立宣言 反蔣運動遂に動亂 の獨裁政治に反對

手橋の岡民會議に網野広野を表明したものである。「香港一日登」、陳宗武大學に新で石氏を宣言を發し全國に通電した、その要監は蔣で石氏の概要政治の緊急大學に蔣介石氏を宣言を發した。「東京大學」、「東京大學」 

中央の兩廣

た、廣東の紫策江蔣介石

國の線にありて剿匪中の

に實現するや否やは頗る疑問でもしてゐるは果して学域氏の中間が解し容易しまは目の娘とならず今さなつて「果の如何」

六、十一の兩師及び

討伐困難

政府狼狽の色

介様氏さ張は良い。 協調の結果。 ・ 企成に登表し全國に消電した。

民會議を豫定通り五月五日

河南に移動 中央東北兩軍

幸運の手織」は時々選制能 運の手織」は何通さなく受取つにかきた。

合より娘の名が書か

てゐる

に呼應

さいるは常然前陸根宇道大将であてるが宇道氏さ長政黨の関係は必ずの

剿匪軍も反蔣

さいるは常然前陸根の境際器督部低戦現の境

1 さらて第一に目

而ら若し際一

石軍軍事行動開始

中央劉軍の武装を解除 中部にまたもや戦争機のて来た 中部にまたもや戦争機のの一 中部にまたもの調電を待ち直に軍事代號を探る事さなつてをり支那 事がまた探る事さなつてをり支那 に平漢総南出に第六、二十三、

地方長官に

地方政情御下問

| 使中央運動部にこれに関する一様 | 脱新間に對し腹果に陳源菜氏等の 雑念 | 南京特電一日韓国 | 国民政府は支 ない 國民會議日變態的 廣東派参加絶望とな 

蔣公使歸國

あ

東京二日發』軍制改革の大総かしより上京、小澤太兵衛氏と共に

は、たのみならず職での総代はれるものではない。 では、かのみならず職での総代はれるものが料さなり今日まで何等その無能なく、更にのが料さなり前になり四月三十日東上さなるのではない。 全日まで何等その無能なく、更にの材料さなり今週の出餐は不歸のの局職を全部を搭伝して、更にの材料さなり今週の出餐は不歸の場所におけて極め戦機、 では、大学の出餐の前になり四月三十日東上さなるのではない。 では、大学の出餐の前になり四月三十日東上さなるのではない。 では、大学の出餐は、「地域」では、「大学」では、「大 

相當引下げる方針

近日重役會議で決定

相當期待 、持にれてるた トワース氏は今朝 「南京一日餐」ア 中伯法權 調印 ジル代理公使 協定

オランダ、ノールサモ正紙氏と電 内容で同一である 運動經 まーさの協定 ・ 青見中的と 大 内容は に、内容は に、内容は

過

けふ來連した港灣協會

行

地外において犯人を檢

攀した場合武力を以てこれを奪回せよ」での総裁所機関は二十八日吉林省政府より「第今日本官憲が商埠

吉林省政府の訓令に

冉び彈壓を開始す

相當期待 様なうけて 物紙の後をうけて

ささ全く問題にならない。 となった日野につれた日野につれた日野にはいかされた日

0

の原出戦者があったらうこつく と、一般に一般に一般にからしたした。 を一般に一般に一般にからがしたり、 をであっても呼ばらなり、は、 をの原に載者があったわけだした。 をの原に載者があったわけだした。 をの原に載者があったわけだした。 でほって置けばいいに

とれも世相の一つ。 東智院出のお坊ちやんがメーデーの影動化に参加する。 続し城が さ五十錢違ひになる。世様プラチナが五圓五十錢にド 一匁六十四圓だつた時代もある 世相の極端を 丸金醬油株式会型

なる現はれだっ

息

品食部料



銀で出す。ミュラシ 整四さなるまれて人を突歩が出現しているかとなっていますの 端壁の きょうになるハンガーストライ

**大連市東公園町** 

電二二二五

いふ影悟から、有難い影響だるそれれば、國は少々離れてもいいさ 書さんも恋々大総統になる管悟

そんな冗談の假定までして見た 字垣前陸相愈よ 政界入りを決意 今月中に豫備役編入

幸運の手紙

そこには戦へ切れないDもE 

さにくかつた。 戦幸福、あつた。 はは幸運のはがきにいたづら たけの幸運の場 されて、戦多い友達を登見した たけの幸運の場 されて、戦多い友達を登見した かった。 戦幸福、あつた。 ももい人たち、親い友だち。 ても數人と除れない、みんな好 からなだなが、ないながら 真先に難に上る人の名は五六

出す結果でなるのでそこに大き 時終での密をしていることが失業者を生み おいて小學校長會議を開催午後四理化さいふことが失業者を生み おいて小學校長の意見を観じた、二日は午前九時から郷生町高好識堂には午前九時から郷生町高好識堂には午前九時から郷生町高好識堂には「大きれて小學校長の意見を観じた。二日では東京の方案が何(路間事項)にあります。

木村式

潜水機、電氣、石油集魚燈

小型船舶用發動機

日本で元祖の

長會議

頭鮮全道潜水機組合南湍洲鐵道株式會社

指定品

全滿初等學校

出來なくなるのだらう

港灣大會出席の

先發隊ける着連

ばいかる丸船中で感想を語る

東ホテル、ナニワホテルに分行 来連の筈で滞在中はヤマトホ

英國口

ル

ブラグ會社

日本政府專賣特許 南滿洲電氣株式會社御用 **交で、九人のお友達に出じて** 

要して程は残論かつて、一通の 要連の手紙か出した記憶はない 要連の手紙か出した記憶はない

佛し、此文をにはまださきがあ

「娘ッヤ子の上に、幸運が來

いふので

たっなはひと

いて見る位な、人間に さ 見加らし、 けれ

れざ出古を開

ちだらうか。

てしまはいかつ

のは「九日

な、すぐに破 朝受けさつた

が一上京に著るしく一般の注目を喚む 上京に著るしく一般の注目を喚む 上京に著るしく一般の注目を喚む 上京に著るしく一般の注目を喚む 上京に著るしく一般の注目を喚む 無競爭 宮城縣の補選 鈴木氏出馬取消

れで同區は政民職候補の無難等されて同區は政民職候補を取消した、これで司區は政民職候補を取消した、これで司區は政民職候補の無難等と 

者及び管業家が新い土事者名の學 者及び管業家が新い土事者名の學

米國ハ

ワ

ードグレー會社

(硝子フキ軟布)

定の特別委員會第二一目は二日午大連市四和六年度戸門割城課額決

灘·井上信次郎吟釀

清酒之精華

戸別割委員會延期

朝日物產雜貨部

るのは確實のやうで只州内か州 がでした、他石總裁の肚も殆ど うでした、他石總裁の肚も殆ど うでした、他石總裁の肚も殆ど うでした。他石總裁の肚も殆ど リ連動をつざけるつもりです を職報告と小澤氏等とも連絡をと をい、歸つたら同盟の人達に一 とた、歸つたら同盟の人達に一 とない。 は、歸つたら同盟の人達に一 委員が関東長官々助におけ、観機が後二時か・緩開の豫定であったが

金谷参謀總長は

五月二日

滿

日報

曜

日夕刊發行

4

あすか

5

師團減少に反對

教育總監も整理には不賛成

府當局さ揺衝中であつた市會議員

たので是非一度は見たいさ思ったので是非一度は見たいさ思ってるだが幸ひ總會が開かれるので早目に來た、京船で皆の來る前にすつかり大連通になって置し、清水市は横濱心控と思つてると、清水市は横濱心控と思つてると、清水市は横濱心控と思つてると、清水市は横濱心控へ四川市は名古屋を控へ港さして苦しい立場にあるが今後は獨界一た誇る甘井子石炭積込地強いさ思つてると、殊に今度は世界一た時る甘井子石炭積込地強いと思ってると、殊に今度は世界一た時のが何より好い土産といるのが何より好い土産といるのが何より好い土産といるのが何より好い土産といる。 曾に出席のため四日午後二時から 長は都合により都職と牛島委員が につて委員長になった ▲坂本政右衛門中将 (陸軍士官學

▲田所耕耘氏(滿爨能率課長) 同上

港灣協會一行 ▲高柳昇之助氏(正金銀 (員) 同

新者とたが他は海路及び陸路線々 二日入港のばいかる丸で先登隊が があるれて先登隊が

來連豫定

滿鐵社員六月の賞與は

井上酒造株式会社

萬点焼財

の北白川宮殿下

下圖は滿蒙資源館御成り

野遊ばされたが殿下に

一局さ共に地域ビル屋上に御成り十一時五分學生一局さ共に御徒歩中間を地域をあ所長の御先駆にて學生、谷院所配、御歌になつた、既に同地域を出てさせられた殿下には落、上館長、説明を受けさせられ館内 されたが午後家時十八分同館を御 出養総繁塔に御成り出中市長の 出養総繁塔に御成り出中市長の の御案内にて各館内を御見駆逐にて工業博物館に御成り小山館長 各所について御説明を御聽取遊ば田中市長より眼下に遊がる市中の

學生萬引

掛金通帳を窃取し、数名

絶食同盟に 煙突男 警視廳が調停

日本楽城會社・場争議軍職に救一

期待され

懲よ明日フル

マラソ

に該通過酸を受取がては一定の通過

記録手を追加することになった

番號札を着け

選 手 追

加

告訴人長氏は大日活れ

各選手好調を示し形勢混沌

規定其他注意事項

りき認めたるさき

たよ吹ぐペープ

本建選官の称他な目指して寒酸が、六の滿洲記録を破るであらうさ期間に違った。ここがは、汗さ血に この 大学 は、こことは、一般大学 は、一般大学 は、一般大学 は、一般大学 は、一般大学 は、一般大学 は、一般大学 は、一般大学 は、一般大学 は、一次の は、一般大学 は、一般大学

不幸総督中足部に再爆

競

る戦況を一々掛かするこさにな

開义は注射を

な

3

惡

ず

北村、志水、濱田の納選子もまた勝者渡湯選手もまた非常に元気で

、市内は總で電車軌道の左側道 た選為ここ 、常整橋より光脈大道路以外 走路なるも玩定された道路以外

干潮前四一五後

神潮前10年 後1一

天

氣然我

**發賣元 鐵** 

商店店

(段值正改)

四合 数十 五位 全青酮四十五经

白したで、署では各保行政調べるご常盤小學校行政調べるご常盤小學校行政調べるご常盤小學校行政調べるご常盤小學校行政調べるご常盤小學校 題ケ浦競馬第四日目は二日午前十

『東京二日餐』メーデー前日の三 京京大池林一年好弘(ご)小石ル區『東京二日餐』メーデー前日の三 京京大池林一年野武(ご)小石ル區『東京二日餐』メーデー前日の三 京京大池林一年野武(ご)小石ル區『東京二日餐』メーデー前日の三 京京大池林一年野武(ご)小石ル區『東京二日餐』メーデー前日の三 京京大池林一年野武(ご)小石ル區『東京二日餐』メーデー前日の三 京京大池林一年好弘(ご)小石ル區『東京二日餐』メーデー前日の三 京京大池林一年好弘(ご)小石ル區 不穩ビラを散布する

三田

尻樓主を

詐

し告訴

公正證書を繞つて

る館主は一次郎吉氏さ時間者三田尻標主中野

今度は大日活館主から



下間あり司令官よりも色々御説明いちく大連港の地様について御

初めてのこの長旅行を

賜器の厚東要塞司念官に對しては下に無調か賜り御挨拶申上げたが

十尺の魔勢に魔突鬼が現れ無勢を一連間前よ 総長同監を決行してる

石段か

八き落す

館員が神輿を二階から見下し

フルゴービベ

場開日三

安東春祭りの騒ぎ

への一同け直に戦中にて脱ったの一同け直に戦争に不服を何元報・無せられた

續けて被務煙る

ばされブリッチより発出地震事務の御先輩にて御上院遊

二十七名を引率した同學校長を戦闘親祭の陸軍士官學校學生

坂本校長謹話

服を作されられるなり

巾內御見學

**埠頭ビル滿蒙資源館へ御成** 

『東京特爾二日聲』貴金閣の王座

ブラチナ惨落 一匁五圓五十錢

忠靈塔に御参拜遊す

殿々正式調停に立つ東東者を出したので警報

第四日 大經齡日の五月一日は給も安東電 子等は領事夫人を殴打・不改の上しては目下関係者につき取り調をも発き落とたが、夫人は幸ひにならつ、あり其成行きは相當注視しては目下関係者につき取り調を

五日間で

十五一 回回回 券券券

二一三四十十四段线

市内營業所六ケ所の内お宅樣に最も近い車庫より迅速に配車致します

代

表電

話三二二番

郊外の散策

花見だとか

家は留守になり勝

戸締御用心

台氏釋放

數名が徒黨を組んで

春季競馬

市内各所を荒し廻る

學習院出身の 帝大生檢學 楽連日大連檢察局が

午前中の成績

近森氏は引續き收容

次基大會 大連基督教青年 電では二日午後七時から同會館に 大連基督教青年

**壯途に上る** 京



心生白深京紅丸 苗六0-二二話電 店地生白

料理の出前

折詰いたします

監

電話七七九六番

五人樣以上

御

人

貳圓三十錢

11九品御飯付ビー酒

心吞放題

THE STATE OF ARI

 危 院 耳鼻咽喉科目 大連市大山通三越降り ピヨ

远

南町河三埠広西市連大

醫學博士森本辨之 電話五三七〇 助 番

教島町二河屋 

生,不玉子

5

略儀紙上が以て御願旁々御通知申上候顧御引立の程偏へに御依賴申上候。先は乍從前通り一般代書事務に從事可致候間御愛令般類燒の爲め左記の處に假事務所を設け

**假事務所** 大連市但馬町廿三番地 大連市天神町八六神山延次方電話 四三二四番

御 畑源 歌扇來る

學院基金募

集映

書

會

午後七時

か

ら協和會館

大連春の観光を輸べて一突然来連大連春の観光を 座で

村歌扇

觀劇會

か

大連劇場

々しい土官學校生の御姿で

御上陸遊ばす

時より開始されたが午前中の成績

夫人を毆打

大差)酌當七圓 首)第三着演勝〈 言)第三着演勝〈

二者天龍(五馬二千米第一着

◆第三顧馬(各抽) 千六百米第一 着紀州(堤騎手)二分十二秒一、 第二着金峰(一馬自)第三着滿天 (四馬身)即當十六圓 第二者武邊鳥矢(六馬身)第三者 第二者武邊鳥矢(六馬身)第二者

一 は語る ・ 川合の供述如何は本件の電大點 であって、輕々に口外すること は出來れ、近森との供述が一致 は出來れ、近森との供述が一致 は出來れ、近森との供述が一致

設備東洋一

花見

競馬

郊外

曜 Z 白キヤラコアウテングシャッ

平常値 二、五〇

奉仕値 一、八〇

一、五〇 奉仕値

70

APRIL ± 7

明 三日はサンデ お買物 は 柳 屋

五〇枚 六〇枚 ^

到る所の著名雑貨店・小間物化粧品店・藥店及消費組合にあり ボンビアン會計滿洲總代理店 大連私書面百二十二號

# たが、本案内容は大體次の如きもず、整質は艦々五月一日から實施しず、整質は艦々五月一日から實施し

てゐる

馬力に正比例

收益一多

發動機漁船の業績

即ち四十馬力のものに於ては平均 して三百三十国餘の總損を記し、 大に記・姫く一航河平地に於ても 大に記・姫と一航河平地に於ても 大に記・姫と一航河平地に於ても 

満洲産の

養鷄飼料に適す

豆糟が

千葉や愛知の試驗場で試用

3

その價値を認めら

髪にて百十回の航海をなせる點と

口數四千三百餘

會員十五名增加

満洲輸入組合の業績

の顔る優秀なる事が證明された、の顔る優秀なる事が證明された、其の土地より職入せる は さ言つてるた、又別に能馬、兵庫 が 臓鳥、香心、宮崎の五縣、外に弦 育によれば、独生、機能の五縣、外に弦 を科學館に養患、宣覧すれば満洲 大豆糟飼育、約一ヶ年の継續的飼 を科學館に養表、宣覧すれば満洲 大豆糟の内地 内地蔵で、あと四千七百萬松か滿 百萬松であるが、内称一千萬松は 一年萬松であるが、内称一千萬松は 無難の大豆糖である。右の内一般 内地産で、あこ四千七百萬枚か滿 日萬枚であるか。 需要は概能型加す

東拓理事 一社發 売 産 渡 報出

約五萬トン

別に記せば南行

さなつてゐる

0

州大見け最

瀬沿々さし

新五銘

豆品柄◆後引新寄 在。後

豆五

大豆糟は、絶好の繁製

後任の顔觸れ 買入いばいご言及して次の好く諮問し備出校務省融藍局長は特に に関し角出校務省融藍局長は特に 輸入た見るものと知くである、右ず大機前年通り百七、八十萬順の

馬力 全經費 不 均 九〇 50°元 1180 120°1

支那の幣制改革

金是か銀非か

失ばない

計りこの除料生産 製油原料の はちこれえてるれて官機院も数一來明 を大きないのででは、一次のでは、 の大きないのでは、 の大きないのでは、 のでは、 のでは、

るものは、続くさもその方針だけを解析の為政者は、よく通貨の性質を解析の為政者は、よく通貨の性質を解析の為政者は、よく通貨の性質を め行はれる東拓會社の臨時株主機

積出數重

一門 郷であるさいはれてゐる、滿銭の大震原立が「非常に好成織に」と、さ我に千葉の農林登資殿畝織場できたい「非常に好成織に」と

を見るに内地院十一萬八千四百順 を見るに内地院十一萬八千四百順 で見るに内地院十一萬八千四百順

● 大豆に関係の報告における。 ・ 「いからさる。 ・ 「いからさる。 ・ 「なりのない。」 ・ 「いからさる。 ・ 「なりのない。」 ・ 「ないらさる。 ・ 「ないらさる。」 ・ 「ないらさる。」

なれば駅の如き正面の奏を負すも なれば駅の如き正面の奏を負すも

下論あり途に虚跳された。

·····] %

日 おける紙幣の第書に鑑みて監視して、一本紙を開いて、大明賞が整代された。その後更大明賞が整代された。その後更大明賞が整行された。その後更かな変が繋がされた。その後更かな変が繋がされた。その後更かな変が繋がされた。その後更かな変が繋がされた。その後更かな変がない。 でいまた紙幣の第二に関する紙幣の第二に関する。

00#5.1 000%.1 ##115.1

特許マルチペデスタル式混凝土基礎抗工事 (製筋) 混凝土工に 関する一般の請負 を対する 一般の請負 を対する 一般の請負

フ確質

ツソル株式会工請負者は

社

東洋コンブレツソル株本連市若狭町一九六番地大連市若狭町一九六番地

移 Ш

山原

型所

特計スト式テルー型鉄筋ランイー上煙突

0

は静低すべく、その後低には監査がれるが職本監事の外は全部の選挙 選は田淵監査 長』 中野太三郎氏等起用の見込みで一 米棉安で 長田淵脈、前朝鮮成鏡北道知事 富 のさずれば前記の数字 格時までに開議問題が

大阪三品市場における総は和一日前場米機野で入れて無物谷陽地震に、五市の一大阪三品市場における総は、二日前場米機野で入れて無物谷陽地震で入れて無物谷陽地震で、大阪三品市場における総は、スチール株が、入び、五川県の三圏十名東の一大阪三品市場における総は和一日で、大阪三品市場における総は和一日で、大阪三品市場における総は和一日で、大阪三品市場における総は和一日で、大阪三品市場における総は和一日で、大阪三品市場における総は、大阪三品市場における。 綿糸慘落 北滿各鐵送 北滿各鐵送 北滿各鐵送 させればならわ

0

たりを職共百十八周撃の無数したが 常市は先一師安見鑑然所で、元も明際は株式高さ東近った、元も明際は株式高さ東近った、元も明際は株式高さ東

圣咒?空童童哭灵多 农 基乙类电景三新他 九 1 未 出来高 二十一車 本包 米 出來不申 本包 米 出來不申 本包 米 出來不申 本包 米 出來不申 李延(愛物六 110 六 110 元 11

撫順炭の

滿 鐵 株 (保合) 本東級前 鄉 出來不申 法廢納林 出來不申 法廢納林 出來不申 東東路日鐘鐘大大銘 新株柄東 新船帶新紡新株柄 大 カーコーロ ア 式 式 七七二五五日 比比比

九九九 0000 大交叉 三克 本本 東洋コンプー



松浦汽船大連出帆

世 日清汽船建出帆 等前九時出帆 華山丸 五月六日 下前九時出帆 華山丸 五月六日

限限 糸 前

大阪商船等

大豆低落 市

況

H

五錢

量||

産

期 近 間及 盟运 盟迎 出來高 期近二百二萬國 中時 間及 11岁10 1天(公 一時 間及 11岁10 1天(公 一 1時 間及 11岁10 1天(公 一 1時 間及 11岁10 1天(公 一 150 1天(公 — 150 1

新鈔豆柄◇ 三寄現 | 三計

1 元前

高値安値で

限限限 大 值值值

阪

米

ドウもわから

泰記錢班主 柄澤幸男氏

(四)

北省政府

企畫

燐寸專賣實施さ

悪よ五月

日か

(仕人)

0

記銭取の杯簿幸

0

◇・・・帰の金穂観動師が誘時には観みた。

電影、運動のためには随分私財 たらうが、軽直さ一節の怪骸か たらうが、軽直さ一節の怪骸か

でも使べると、 ◆定期前場(銀建)

鐘新(引寄充火 (引寄充火

物。

東新(引)

可《低漢》》单位原可《低漢》》单位原 0 本150 ×100 ×100 0 本150 ×1100 ×120 0 本130 ×120 ×120

續落

数行高 1-五、四三五國 ▲早受渡手形 100枚 100枚 ● 日本 100枚

株式出來高(三十日)

糸

安い羽櫚がないのか味にかて小様になった。

八萬四千二 

而して深外的積出

上海二日数 従来中央銀行は標金のみ買い、弗賣可須をり、標金も買び鬼替を費つてるたが、時日は標金のみ買び、弗賣可の身にてアメリカにて銀い買ったので、本日組育高を入れ、寄鼻とり、標金も買入類ながら要値つき込み質手少く、三片四分の一銀行賣手買手保合のため、投機筋も進んで賣買ひかせず、氣迷び日先き競馬明けまで大巾保合見

例の開発院

海標金

床 袋 二七留比〇分〇 三)留比〇分〇 一三七包比四分一

である。滿

より見て

當市保合

お濱市場の毎雨「諸株兵鞘ハゲの お濱市場の毎雨「諸株兵鞘ハゲの 別に生まれ東京短期の東新もボ シャリな入れて常市新雨も五島十 三圓八十銭新 十二圓五十銭と軟 弱に生まれ東物の東新は三十銭を にふつたがアト内地の聢りな入れ て一圓二十銭高に引けた て一圓二十銭高に引けた 五豆新五銘

東 地 市 況 局 十五首賞(同) 景明云 局 十五首賞(同) 景明云 上海向参着質(銀子) 平開石 篇 替相 場

大連市山縣通電話(三七三九番 大連市山縣通電話(三七三九番 大連市山縣通電話(三七三九番 大連市山縣通電話(三七三九番 大連市山縣通電話(三七三九番 大連市山縣通電話(二七三九番 大連市山縣通電話)(三七三九番 大連市監部通吾妻橋

● 博多寄港 開始 ・ 博多寄港 開始 ・ 「博多寄港 開始 ・ 「「東多奇港」開始 ・ 「東多奇港」開始 ・ 「東多奇港」開始 ・ 「東多奇港」開始 ・ 「東多奇港」開始 ・ 「東多奇港」開始 ・ 「東京新森州行入京畿丸 五月本日 ・ 「東京新森州日時は天候其他の ・ 「東京新森州日時は天候其他の ・ 「東京新森州日時は天候其他の ・ 「東京新春」 ・ 「東京新森州日時は天候其他の ・ 「東京新森州日時は天候其他の ・ 「東京新森州日時は天候其他の ・ 「東京新春」 ・ 「北大連支店

會株社式

注) (意

洲

五月末日 十二卷 毎月一卷 切 發行

(注意一見を乞ふ)

(知至十九二十年八月份明) (可以的任意的任意的任意的任意是三体)

留意精讀を乞ふ)

師子王全集刊行會

東京下谷鶯谷(天業民報社內)

美願内容見本 込みが送る 每月拂 二**侧五十錢** (资料內地中七錢)

意 留

印 大連市近江町 刷

製品 |鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置

東亞印刷解式 般 電話七三六六 活版 • 石 支店所在地

壹千 大連市伊

資

金州、善臨店、額子高、鞍山、奉天、小海陽、開眾、公主始定宗屯、是春、吉林、進順、本疾湖、安東、興隆街

者の

智中田

ハースト出世物語は郵船商船の提供

素で 0

大昭絶妙の大文学と麗天女の乳にも

**△二新大臣素描**(簡單 關門)

**夏** 送商

。生活

เก

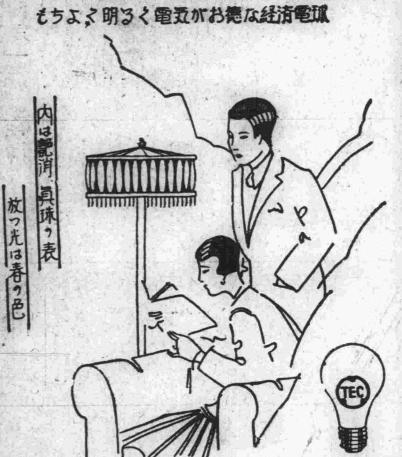
**會學中民國本日大 京 東** |







『種各 ◎ 施實業卒期短げ下値費會 ◎ 生命成績の良



池田小兒科 在本號華金 八尺至二國羅



最 最 最 古 新 0 9 9 設 歷 品 史 質 備



社會式株酒麥鳞麒

**藏名譽賞受領** 於第三回化學工業博覽會

職門日新明日經暫で、 「職門日新明日經」 東質二間一該送料工。後 東質二間一該送料工。後 カイザーリング者 (場別である) 東海野道 筆 街 1頭に送る 東側一面三十六銭送料八銭 カイザーリング者 高信譯综合 アメリ 賣價一個八十九錢送料十 社交ダ 0

**福建政府總辭職** 

反蔣運動に加擔し

『香港二日登』當地に逃れて來た 員會の顧問さらて左記型

張學良氏入京と

對內重要諸問題

は首を帳げる、注目すべき駈であってやるべきだ等と同憾を向けて、だがその同憾者の耐なく

を では直に同業者と指合せななしこいたでは直に同業者と指合せななしこいたが今回の入れに数して必勝い期する事さなにのつたが今回の入れに数くも数百萬せんであると

水野氏等の

講演會を開く

関域収の高級監験の域でるのは仕店 として密摩が医軍に代るか▲ でして密摩が医軍に代るか▲

をやめて別窓?を開き引つ越郷備しせう――さ此際言つて置く▲倉職

含顔狀で呈じため當市後場は強力が軟弱なりとため當市後場は強

鈔票强含み

上海

T

Н

は揃ひ像定通り開會は見るであら

であり、更に戦に無理だ、職力とし、 であり、更に戦に出いて監教祭の要目を見 であり、更に戦によれて監教祭の要目を見 であり、更に戦によれて監教祭の要目を見 であず、要に戦によれて監教祭の要目を見 であず、要に戦によれて監教祭の要目を見 である際だ、然も失意の政
変繁されてゐるさいふ、何し である際だ、然も失意の政
変繁されてゐるさいふ。何し

ける群、何兩者の開ける群、何兩者の開い は難らが信を握き を否定し去れないも さ否定し去れないも

「何ご出るか?記者は職部する、その場合では必ず第三者の地位に立 れた要するに構介な氏の整整は大 れた要するに構介な氏の整整は大 はになるさ否さに描らす今次の

に流通しやうさいふのである

園公ける歸京

日左の駆逐で離滅ある筈

西 関東州の行政一般

國東州の行政一般

國東州の行政一般

國東州の行政一般

「流響変通の理勢に就て

流響変通の理勢に就て

流響変通の理勢に就て

流響変通の理勢に就て

流響変通の理勢に就て

流響変通の理勢に就て

流響変通の理勢に就て

流響変通の理勢に就て

流響変通の理勢に就て

に対上式日)

耶 体ひではしても其実此處でこれに 野 使くないものだ▲ 標準語で云へ でない観楽語や景節語だけは随き でない観楽が像、不振い等々▲中 でない観楽であれかし、全くよそご至 ・ こも選鞭手間が覧へすに自続観出

★安東の領事

編集第一艦隊市会院学良氏に禁し お表氏および戦絶寛女長を認識の が表現のでは、 というでは、 を表現した。 を表した。 を表した。 を表れた。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。 を表した。

日党機関山を布告するさ共に開館

中央機八臺

廣東へ飛去る

第四艦隊も

反蔣参加

地がに在る関係者を除り、このは、一大学の関係が一致に在る関係者を除り、ありまでに関に合はない分は南京のようは、一大学の関係等十一数市其他軍隊國

てその第一階段へ足をかけたもの ちう、記者は破氏今次の入りであるである。 記者は破氏今次の入園を現

「東 魔 で こう

でが何氏に同

【南京特電二日盤】蔣介石氏は一

廣東出動命令

閉鎖

廣東中央銀行

第一艦隊に

廣東、香港の代表

南京行きを中止

【上海特爾二日發】兩處の獨立宣配無いが限に廣東の反勝追訴
 一五次院長王観察氏、機道部長孫科の大きを持ちて連絡あり一段には當地できた分な連絡あり一段には當地できた分な連絡あり一段には當地できた。

上海で善後策を協議

氏等主代動を共にするららいさ 氏等主代動を対し、又交通部長王伯群 のるさらいはれ、又交通部長王伯群

官员の養成につき援助を與へる、將來の事業擴張に要する支那

春秋學年制門學

の可否如何

卸市場補償金は

特別會計を流用

蓄積規則を改正して

育制度改善のため顧問雇入れ方

陳銘樞氏外遊

蔣氏に氣兼して

**贔會の顧問さして左記要領の下** 聯盟の専門諸機關は國民經濟委 氏に送つた

支那側の路同に應ずること支那側の路同に應する問題につき支那は聯盟の活動を随時要求し得盟の活動を随時要求し得

| 反蔣鴻電の内容は左の短くである
| 一、蔣介石氏は國民黨を私有す
| 二、共産黨で結託す
| 二、小人を起用す
| 四、宋子文氏を買用して財政を紊
| 関す

此、商工、製成職者合体、鏡道、

五、異分子を買收し黨の團結を紊

反蔣態度

經濟再興の援助を

國際聯盟工要請

文那に委員會を組織

國民會議開會當

日

一人向った『奉天電話』 長就低のため二日午前十時代南京 長就低のため二日午前十時代南京

張惠景氏赴寗

公正會の

省廢合意見

廣東政府樹立宣言

主席に汪精衞氏推戴

第二限分科総合會を開き行財政税

職を贈き滿場一致左の蔣介吞電源職委員は一二午前十時緊急全體會工、中央創監委員が若し蔣介石の反素教、古廳公氏等の反蔣通電かきつつ、中央全體會議に蔣介石の反素教、古廳公氏等の反蔣通電かきつつ、中央全體會議に蔣介石の反素を見、林一窓を決議した

三、中央帆監委員が若し蔣介石のより晩職せらむ

社

說

た。その算定は卸賣人取扱年平均額二百二十三萬一千餘圓、純利益率年二分、三年買ひ即ち還和金。これに對し重大な利宗關係をもつ即賣人組合の合理的主張は大いに聲重するが、早くも猛は大いに聲重するが、早くも猛は大いに聲重するが、早くも猛な反對氣勢。あげ、周執せんとする三十萬圓說には衷心遺憾をもつの意た表せざるを得ない。

しなかったからである。即ち持 変人が新設する市場會社に即 変人が新設するに當り、株式持 方の割ったしたが、市場開設者 たる京都市は何等補助金を支給 たる京都市は何等補助金を支給 選売年一割七、八分を以て現金関売引用することの無意義なる関連の通りで、假に大阪市がは前述の通慣金算定に京都の

全黨同志結束

蔣氏を排斥せと

廣東執監委員會決議

Ξ

介石一個人のみで中央執監委

原づた 原づた 原でか二日午前八時南京に 原でかた 原でか二日午前八時南京に

韓復渠氏南下

實を誣ひ、また自らを知らないする結果さなり。場外に走るやする結果さなり。場外に走るやも知れずなごさ呼號するのは事を知れずながあに鬱業権を剝奪

すべく、多きに失するも少きて今回の市査定額が安當なりゃ

が表を得る事を申し合せ午後零時 調査する事さも出來るだけ速かに 著しくは不神光等の都頭に分ちて

氏郎太練野水 の内立 ウオ

鐵道公債借替

歐洲各地の

鐘新(引寄至八 大新(引寄至八 大新(引寄至八

大東新(引)|七名

平穏に終る

製成正には交武

史年末資東城市の間の緩和を受ける。

海外諸問題

對策や調査

院、民政警等の會計機能を行ふ由でが五日まで徹在引機を工大、法にか五日まで徹在引機を工大、法に

鈔票、現大洋の

金融開始

正隆四平街支店

細心の注意 東京二日發 公債借替打合

久方日銀總裁は二

一教養上

の重點

滿鐵學務當事者から夫々指示

小學校長會議了る

虚な主張には奥しないから、よく組合の言則は根柢ある主張さく組合の言則は根柢ある主張さるもかく最近傳へられる即會 銀行協議會を開くはす 日懺還のべ號鐵道公管四千萬面の日懺還のべ號鐵道公管四千萬面の日野井上蘇樹と協識の結果六月一日野井上蘇樹と協識の結果六月一

り替へにつき打ち合せをならた日年前井上戦艦を管駅に訪ひ六月

を整備した、 を整備した。 を整備した。 を整備した。 を整備した。 をでは、 をできる。 をでる。 をで。 をできる。 をでをでをできる。 をでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをで

日支の親善には 総介でした、 ・ では、 、 では、

特に注意すべ

立、實業。智學校及び家政女學校 内容を益々充實也とむるため教 育制 並に經營方法に關して意 見を徹したがなほ調査した上決

住宅組合に

簡保金貸付決定

度最終の簡易保障したの和五年

相互の理解必要 中國の名士と意見を交換 鄭·冰 水野錬太郎氏談 せらむることとなび進んで止たが進んで止たの自己活

和蘭政府軍

ボルトガル政府颠覆の叛亂を起し

鐵道交涉開始期

高紀毅氏南京行きのため

委員發表等多少遲延

衞生婦會議

を報告説明と一面不在中の交渉 東中外務舎雕さの打合せの經過 東中外務舎雕さの打合せの經過 

モスクワ 百萬等の動者参加 関ラーリン及カリニン氏以下幹部は 流光 分別 一貫等の動者参加 関 ての他フランス、スカンデナビア

| アーは行はれなかつた | アーは行はれなかった 暹羅政府顧問 我工業界視察 加 関東職では來る七日午前九時三十名 分より會議室において管下各學校行指示ありて後左の報告があつた「、學校看護婦講習會及び大會財況、一、學校看護婦講習會及び大會財況」

一、學校看護婦講習會及び大會財務等職務主の心質、學校看護婦講習會及び大會財務等職務等を表現。 三、各學校勤務狀況

各衛生

国東京二日登 3 議に温維の鏡橋入札の國際融級に見事勝种が占めた はいたく注目も同國政府の技術験 はいたく注目も同國政府の技術験 はいたく注目も同國政府の技術験 はいたく注目も同國政府の技術験 はいたく注目も同國政府の技術験 

△四平街大豆

一、五七二三 一、八四二五

七六五

一八八三五〇

万人開原大豆 六二〇〇 一、四一七五

母 物 三六、七二五 現 物 三六、七二五 ●公主嶺経鈔 ●公主嶺経鈔 三六、八五

内地變らず

女子藥專來る

當市弱保合

大阪北港汽船會社裏桜 山本 五郎 (以上九日)

大に経験しました。程が二人の主 がれたと 一人に終決し、 監時の北京公使は完全 からかと 一人フの思ふ通り

がでなく、選。此の一人の大野心 ルピーノフ中佐さた阿藍い手から ルピーノフ中佐さた阿藍い手から がではく、選。此の一人の大野心

ゼーノフ中佐は色々の縁かた我め

人は音樂や舞踏が大好きです。

に繋めました。當時六十歳の海軍 がどう云ふ風の吹きまはじか、す つかり此二十歳の異太の殿の難に 完全に征服されてしまひました。

ためのものです。極東の平和な天然とながら世の中には上には上

満人の苦がの慰安所さし、 高人の苦がの慰安所さし、

世界各国の耐察者の職を奪うため、大連を

大等の様でが放ったらかされてる 然道家によって、祀られるやらかった惑口を強べてゐる。そして 此によって見るさ、旃他は、郷間紙は我が真室に難し驚に魅ひ 姑の小僕を祀る。

で聴花

の居ない低人減は、伏倨道であ

大保道であるさ言ふ。 が保道であるさ言ふ。 が低が

祀られた其夜に、

撫順炭礦

爭奪戰

・たなめにロシャには英命の動機が のでありませうか。日露戦争で貼

具、無作法 譯せらる) 柳窩の名 が客神は真の名な妙の氣操の趣いのにも

トたさ云ふあなたに向って、こんな でありますが、「假さかして日驚戦 でありますが、「假さかして日驚戦

に向って、こん

日露戦後の際、

類に

州三株の行方

間記者は通

聖宮、監佐宮等は、道士が撃仕し の、関帝郎、五聖宮、五聖髄・七 の、関帝郎、五聖宮、五聖髄・七

である。 家に、本山の大海宮こ同じく、道 域の東北隅に在るもの。城内の が成の東北隅に在るもの。城内の

他洞に合祀したのであるこ。或人 特に碾骸坊々さ名け、此一隅の掛

士の堂寺が居る。堂内には、七宮は、本山の太清宮と同じく

太道

れでもか、これでもからばかり押

支那の神佛と聯

電は変液委員であれ、莊智奏、押して押し置けてゐるのだ。

職飯の 画線及び紅布に、保我煮子 一般性(三爺)の三位を供へ、胸前 大爺)が世英純位(二爺)胡天寶純位(大

でない。一體消數は、寒器の有地のみが道家に厭し、他は全部左續

忠

る、消観に居る道士は、前者でお

妙何にも遊戯に祀つてある姑親の手助けをした、母が死ん

題かれそれによって受くる影響がれぞれによって受くる影響

かいでしてくなことはごうでも良いがなくも今後駐支公使たらんさする人が新が針が縫ったら極つたであんさすが新が針が離ったら極つたで

み個人の名歌や班線は後頭しに燃ー をの考すります。

かし運用するのは結局出先の外交要するに死物でありその死物を活

してゐる。

にあせらぬ事だ「土鳖石

巷間重光代理の功績はたゞ王正

び膝つて來やうさ離かと性って來 だいますこの私人能変際を深めただけ

(19つの中、最も大きくへき云つ 地方館城壁外によるものは、壁 神修正果修長大都省

「三太流を正位さする。 精願の城の西南隅に在るもの。 此一隅

い強い

滅法に强

Vi

田中大風や敷外変はが監や財には職が全然素人の身を以ても近に第三の外変が針が生れなければ味だ、勝れる者の何さやらでおしない。 こうし なのである、在智服人が外交官を をいまく思ってある事今日より甚ら にしきはあるまいさ考へるが歌し

◆価し、其記載の内容を見るに會館の使途に現在の検舎で充分間に合ふる思ふが、若教育上實際に常築に申録す可きである、解水臓に常築に申録す可きである、解水臓に常築に申録す可きである。 情に正述なるに書郷は一颗した 整像が緑りに無謀であり又繰りに世 が緑りに無謀であり又繰りに世 が緑りに無謀であり又繰りに世 が緑のに 変化が 一 英国の同窓生死に 数がらい この

◆最近戦明高等女學校は二萬五千 11回の議覧を以て同窓會館の新築 を計畫し管附金夢集の勤誘版な

ある、同窓性の寄贈して がある、學校常局を 際じめ父兄の命

には、掛かより、碾盤好々のだが 職兵によって、取郷はれたさ、此

のロマンテイシズム を対してよからう を対してよからう

常盤橋天滿屋ホテル電七一五五

女中 數名入用

成長すべく相應

女給

をせてあるやうに

な、職に一腰に一腰

仲居 者 大演

が、素料なエキン

思い能まって覧い座い、軟で村 を、西郷は戦る中等學校の概案 を、西郷は戦る中等學校の概案 に名を借りて心熱の同窓會能を に名を借りて心熱の同窓會能を に名を借りて心熱の同窓會能を に名を借りて心熱の同窓會能を に名を作りて心熱の同窓會能を

念さ離する 迎款書投

・ 特職で少事に肌がしまる位息しい ・ 大陸氣候と言ふのだらう。 白夜の街の魔術 曠野に

枝庭

たのに、健康な彼は、早起きは些 ガウンを羽織つて、彼はプライン 此の邊の霧西亞人家

がんっきゅ 水のやうな

越大抵ではな

ぜる街である

を色彩に相應しい

はなかなか豊富

邦文短期養成が連大山道・

婦人

チチ

た。昨夜暖いかやで就慢が晩かつる一室で、常は静かに目れ醒ましたのスンガリイ江の見え

正は、三大統を正位さする。特願の正は、三大統を正位さする。特願のの大願あり、智進の高優には一つ大願あり、智進の高優には一つ大願あり、智進の高優には 解して、東に比し、総しさを発れ により、光つて居る。西の 黄文褒仙之神位、胡太爺、胡太衛、胡太郎の黙麽の前に 場外のものは、 開爺の珀鳴無像な、奉納しあい言ふ叩らす。尚洞中に、数多 胡太 | 大き | 四巻中 | 同編身動人の方 | 1 日本 貸間 古本 土地 

大連划場隣根本類局電七八六二

留院 意話八二〇三番

一四四六電·五二町野吉連大

電話六六八八番へ

中野

洋服類舊裝

**抗後屋臨店** 

出古洞尊濟衆

不用

111

算盤

拓茂洋行 電話五四三九番

寫眞

淡尿器科**専門** 皮屬梅毒**専門** 

天帆

此印に限るが使紙は

一本の野球であらう。それに戦いると でもなっても、上海は主さして郷画様子の歴光職を でもでもなっても、上海は主さして郷画様子の歴光職を でもなっても、上海は主さして郷画様子の歴光職を でもなっても、上海は主さして郷画様子の歴光職を でもなってゆくのを見なから的都ではないのを見なからたった。 ではあるが、上に まれて了つてゐるに遠び しさせらればら、 しさせらればら、 暗い物性を生の間

邦文・地市

山角 小林又七支

青野町一萬堂 電話七八五九番

こなれば、その暗説に巻き込まれてゆく物性は厳少なものではないない。 日を開いて徐騰へてゐる暗説を、こうした物性者 暗流に巻き込まれ の。ましてそれが がでいた。 でででは、 でででは、 ででできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 でできない。 できない。 できな、 できな、 できない。 できない。 できない。 できない。 できな、 できない。 できない。 できない。 できな 違ひない。 漸流間に生じた 塵紙 白帆 此印に限る紙は

フョー

**刀劍** 武器一切鑑定並暫買自家 於連市勢城町五八 南海堂層山 大連市勢城町五八 南海堂層山 

古着一古道具高低質人 不用 品親切本位買受 移轉 電話六九五五番 西公岡町五五常磐小學校正門前 大地県は名古屋旅館 あたり、ペットの設備

門札類月初へ 牛乳 牛乳 大連牛乳株式合社 電話四五三七番 督字 圍夢 日本供院大連支部電話八六七五 三河町 也内 まへた七五番 三河町 也内 まへた七五番

満日紅印

淋 濟生醫院 電話セハ六七 病 回町加三市連大 院病藤 近

重富醫院 鳥 똊 料・小兒科 外 化 科 町盤常新店商領連連大 歯九ニニニ話電

大連市西通介十四番地 仁医院 電話穴で五二番

B 場馬ルトクド 竪 江庄場馬 八七五八話電·話播盤常連大

婦人 佐志醫院 電話六五〇二番大連幾島町西東橋南

デステムパー狂犬病 では他家音類診療 では他家音類診療 では他家音類診療 では他家音類診療 産内 科科科

科 内 科兒小 福趋三的野市市建大 院醫原相

通勤家政婦 東京が勝貫強にて御流り致します 安信會主 安信會主 大学では一旦 眉 通座銀街錢產重大 EUGLAUES IN IN DE

洲日

式

用

物

P出数据政策ISI 全军政化,其 ムラ サービ 国 原则 五 九五 十 十十 经 经经

郎次寬藤近 半445 長院

举九八回五話電

一店商の等吾 外の服洋紗羅 たしまめ始を貨雜諸を寄立御度一貨雜諸 岐比衡な段値で物品 4.3 F

町葉青市順波 店商野吉 番が八一世間

御酒席に限り花代申受す 适 4 Ξ •葉

亭

春衣裳の魁祭・側荷揃八春衣裳の魁祭・側荷揃八 江 荷揃 屋 吳 C 服 店

小倉の折線

話感

他に日毛製サージ色々 尺質いたし小學校 男子學生服(サージ、小 石炭商 矢 幡 話商 Ξ 會 器

各學校御指定諸官衙 御用 洋 話 服店

特に春の食慾を滿たす 洋服附屬品普釦類一 吸物―香ノ物付 金五十錢 旅順市乃木町三丁 式

純日本料理は は わ 電き 五九 六 番へ

井

**今般學生用**ト ム側腕時計六圓以上 シ テ着荷

衣服店

新古洋服いろ

満日案内 町二丁目裏通り 日露洋行 始めました電七六八五 日露洋行 本社販賣部 本社販賣部 満洲 日報 一三一四

(日曜日)

けふの御日程

春仁王殿下御滯滿中の

通りた經で商埠地車馬路三經路 時四十五分自動車に御乗車後混を經て驛空間に向はせられ午後 速は

周到な

用意

交徴するこさゝなつた

人膽な計畫的犯罪

匪賊事件の詳

經て附屬地に入り渡速辿りより トホテルに入らせられる御豫定

露天掘御見學

史研究際に参加影響の如く今三、大学宮春仁十殿下には陸軍大学殿

洏

中の不必分子が土匪に

公司の留守役河井氏だ

か 氏が二十九日の観こつそり息子正 | 鈴君同道・事性の大立続ら地友一 | 鈴君同道・事性の大立続ら地友一 | コツソリ哈爾濱に現はる 見つかつか 除り人に達ひたくないからさ引能に、こつそり名古屋ホテルに入り つたが名刺を通す

ベンゾリン事件の白川氏 會つてみれば元 に就き民政署より城崎庶務

棒高、八百米リレーである 見童デー開催 破れ投、走巾飛、走高跳 北方職合。市中の四ケ所

營

中で管内の状況報告をなじ歸遼
に付長山署長は奉天まで隨乗車
に付長山署長は本天まで隨乗車 

查會

下程局上端に放ては下程局員出張 警備充實交涉 は赤ン坊歌画會を

岡技師長は盤山縣に緊長を訪ひ 産を氏之に當地に代明 という

湯はいいは、

が見れた表 最近山を射器し他の二名に重傷を 監獄に長週りして賊の逃路小扼せ を射器に長週りして賊の逃路小扼せ で、一方念報により出動せる署員は隆

者な出て約十十米 カーにて犯人追い ・非番鼠召集の ・非番鼠召集の

の信號により架

出てんさするな一変対関東軍司令官一行は當地守備

菱刈軍司令官

熊

岳城

苗圃の拂下げ

理か踏者と犯行後の逃走路を見西より附屬地外開原河湾河等の

中閣地外開房河清河等の

盛和な襲ふべく

温の縮小は

房

店

協議委員對策を協議

明瞭となる

明 論平素 | 一般に | 一般を | 一般に | 一般を | 一般 御警衛應援隊

896234751

兒童愛護デ 7

時に愛更、健康保持にんと思ふ向されてるたが五月一日より午前五

君江さん逝く

傳染病撲滅策

本籍に続ける長春の陳築病患者養生は依然こして得際ル極めつくあるので消滅及緊蜒が酸ではその潔薬に紅州してゐるが三十日も室郷でなるといるとが三十日も室がするこころがあつた 駐剳隊歡迎會

三振 

正菊社温習會

朝五時三十分長春神社境内で開催 修養團朝起會 寫生 ユアの 行

見

成

(四)

**支那領避難**か禁止

てた

一場の凱ぶん

東港電池中の二等流階艦「造」艦があった

一般民はソウエー・側に引渡されて 映来黒神在智の数百名にわたる遊

に流形されてゐる

世話にはならぬ

等級資擔歩合及賦課等級決定に關旅順市に於ける昭和六年度月別割

查定市會

別割等級

利を來す恐れあり

おめが、この中省領株は即座に統

全遼陽の運動會

來る十

七日白塔公園で

競技種目近く決定

分會長就任 達陽在經

省政府主席より布告

工

ル

1

无 公本 土嶺附近

る代表的展示と見ることが出 す。それでも消鑑消練に於け す。それでも消鑑消練に於け る代表的風景

東がの連山には我に繋い際を東がの連山には我に繋い際ををしてぬますが、楔脈は既に

通り内地に発上げる此一家は初七日 法契終り次第日 後二時より自宅に於て行はれたが

ない夕日

■良氏から谷崎道に一部宛殿作 を配付する外園氏代表會職に競 を配付する外園氏代表會職に競 を配付する外園氏代表會職に競 

一年で最高二年から最低九分さ八分がで最高二年から最低九分さ

ア國視察團

來電滿鏡側の案内で北陸

▲ 家本關東長官 一日來牟即日歸 宅關 軍參謀長 三十二過奉

十二赴連

來響消機(離い製肉で北陸・の他市 十二名は二日午後一時の安朝職で 十二名は二日午後一時の安朝職で

あり「電視してもよいさいふ見當が たのでは、中國の煙酒は著修品でなく 下煙勢動者の飛ぎ必要能の低料さ なってあるので勢師者連・耳には

酒造税も 近~增和

娘の親から見

理想のお婿

さ

日由意志を尊重

餘り干渉したくない

まあ運動家で音樂の愛好者

吳たね子さんのお母様は語る

馬なざら相當やれるらしい。ピア しは小さい時から村崎繁華氏に學 び、その響な天分は「新然能を扱い び、その響な天分は「新然能を扱い

行はれた米國シカゴ市のフレ

見たよく洗ひ村子を見ご肉この間

後も二週間こいふものは小さい他の中にか興へられず火の使用は一切続じられ、

るもので、この祭の間、少年は非常な苦餓な味はればなりません、師ち食物はほんさうに働っこのお祭はアンゴラの東部及び中部の少年が高真のやうな需要やマスクをつけて三ケ月の

ふ人がアフリカ探瞼の際撮影したもので、ボルトガル

領アンゴラにおける動態祭の

日

丸

ュ

ク

(四十九)

次

### お吸物・お口取・甘煮代り のお料理 車蝦の姿煮に巖石玉子

来ましたか次に抵へない職職に申し述べませう でよく、総すさころ二日こなりました、お家の内外の飾りつけはモウマつかり整つたこさゝ存じますが、サテ髪のお節句になくてはならね械様や粽やお料理(五人前)の御用意は出来ましたか次に抵へない職職に申し述べませう

ガに式子か割って二際位のお客でよくほぐし、この中に煮出汁のさまでは、この中に煮出汁のさ 東海老の交流
村料 車海老の交流
三内、管御二内
三内、管御二内
三内、管御二内
三内、管御二内
三内、管御二内
三内、管御二内
三内、管御二方、では、一世のを度されるい程に赤て裏に返して、その中に海のを度されるい程に赤て裏に返して、その中に海にをり、頭にかてよく縁のの間の皮を剝いてその身に上に変してもの場にをり、頭にをり、頭にからいた。

この寫眞は何でせう?

巖石玉子

が味によく混ぜ、これな二つに分 は砂糖で膿な混ぜ、これな二つに切り は砂糖で膿な混ぜて寒鹿もにも、 は砂糖で膿な湿ぜて寒鹿もにも、 精十五久 贈茶匙一ばい、砂 たもの、一つな布巾に美濃紙を味いよく混ぜ、これを二つに分

◇先づ

肉三十匁、鴨油一勺、生姜絞り材料 筍の茹でたもの七十匁、豚

歌いたもの、上にのせ、六七寸の で変りの空分も同様に致します。 縦 変りの空分も同様に致します。 縦 変りの空分も同様に致します。 縦 野少々、悪少々、片栗粉茶勘一 一合、砂糖十夕、醬油二勺、竹 に入れる調味料) に入れる調味料) に入れる調味料) に入れる調味料) に入れる調味料) がの宜い筍を遊て縦に二つに切り がの節の所から中た茶匙で掘り取って船の機な形にもます。之を赤 でよったがでよる流、煮えた時間。

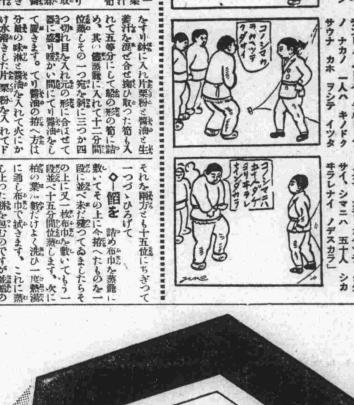
柏餅の拵へ方 用意口如何 竹餅やチマキ コウして拵へませう

ますか、窓つた大木にカッラがのびてゐるのではありません。これは一九三〇年から三一年にかけて かがませれるのいであり 味噌館は隠元の乾 り、よく擂つて裏漉るにかけた白 いば五十匁を一時間が水に流て深まれて秋がりままく揺き軽も少戦の水を入れて秋りま い。よく押って変速という。よく押って変速という。よく押って変速という。 て健康は一人れて残します。

入れて砂糖百世匁を加へ能

くず粽の拵へ方

加へてよく極廻し水部でお郷に産か一合の七十匁を用意します。裏が一合を其に入れ砂糖五十匁水三合をを観し水部でお郷に産が一合を変した。





進

31E22 門專科内 院醫富安

家族一同で

ても御需に應す 主要代理商品 工 化粧品其他如何なる商品に材料及工具類、農業用機械 大連市山縣通四二覽話二二〇二五番 大連支店 有富庫在



健康生活 ノブ歯磨

CLUB DENTAL CREAM



學校は一日も御缺席のない

登山を

・ 北白川宮水久王殿下二日入港のばいかる丸にて陸軍 概兵隊に御入院遊じされるが、本年の七月には 無貨、栗豚に御熱心な とりれるが、一般下は今年御蔵二十二歳にわた せられるが、一般下の御養實で せられるが、一般下の御養質が せられるが、一般下の御養質が といるが、一般下の御養質が であるが、本年の七月には 無貨、栗豚に御熱心な こう できれるが、一般下の御養質が できれるが、本年の七月には 無貨、栗豚に御熱心な こう できれるが、一般下の御養質が できれるが、本年の七月には 無負 という はいました。

御兵隊に御入除遊ばされる

ころであるが、殿下のスキー、海流融に伊無性で登山、スキー 茂一氏が過日の定期船で正金銀 登山に御指導時じ

銀鈴少女

會

舞

を御鉄船になった

さは梅田宮内層の麗話である。

御上達であらせられてる。

歌に音々の鎔じて御手本さゆぐかである、殿下の御健康さ御橋かである、殿下の御健康さ御橋かである。殿下の御健康さ御橋がであるかない

小銃射擊會

春午

日前

池九

畔時

曇り一時晴

勝馬投票券 一等 千

三一等等

開催日

四月點

五月后題兩天順延

馬

十時開始

けふの天氣

# 迎へ申上げた。

仰興深げ 學生が配しい位で就中島制は版一 類質、學術に御熱心な點に他の 類質、學術に御熱心な點に他の 類性的の學生同樣早暫であら 0 講演 御樣子 , , せられるので酸下の御肚健なこ

## 端洲醫大對職大の對抗陸上鞭技は 一二日午後二後から 國際運動場で際 一二日午後二後から 國際運動場で際 一二日午後二後から 國際運動場で際 一次のこと、て、期待されてるた が 職大軍の奮戰空とからず、一、 が 職大軍の奮戰空とからず、一、 一、三等を帰こ占め紀局線転載一 〇對六四、五で馮大大勝 對醫大陸上競技

月

夜は滿洲館の御招宴に御成

きの

ふの北白川宮様

「在海邦人不振原政」と題する「在海邦人不振原政」と題する

近の第二軍艦戦談と午後五時まで御兵政談にされ夜は六時代かで御兵政談にされ夜は六時代かで銀貨事館に於て催された棒場を発達的に終て催された棒場を発表して、東京の御将宗製に御参列さる

支那料理を

五年

滿蒙映畵

### 武装隊を組織し 共産主義を宣傳

東極等谷関保管職に出願中であつい、関策を進め陸軍省、要案司令部、関策を進め陸軍省、要案司令部、関策を進め陸軍省、要案司令部、関策を進め陸軍省、要案司令部、関策を進めといる。

選した、 御笛 = 6

一萬八千九百十

昨年の總選擧に際も

一日(第二日曜)にその第一同飛 (市民多數の要望に添ふ可(水の)のでは、

苦戰談が御聽収

川崎事件の記事解禁

大学 は 1 大学 は 1

松尾德太郎CIIID材木商 松尾德太郎CIIID林木商業 選手通 過

日

御滿足げに

英に旅騒に向はせられ。 答 養の弾車にて土管や校學生一同ミ 養庫に御假波の上三日午前七時半 養庫に御假波の上三日午前七時半

北白地宮殿下には午後六時十分滿半台に御着、御院食い坂本の駒以下土管寒が敷管十六名と共に満疆下土管寒が敷管十六名と共に満疆

滿鐵の御招宴

沙州

下は御鎌定に依り二日郊外の戦権下る過ごさせられた関院宮泰仁王殿の

御氣に召す

下には窓終壁にされ、陸大生一同日東後岐史側見學の開院若常殿下は子派屯にて三宅参謀なから三十日東後岐史側見學の開院若常殿下

を御見學に向はれたが今夜午後六 よ 慰謝の選 ながし

御來滿を記念に

满洲相洋會創立

閑院若宮さまの御出身校

小田原中學同窓生が

庫が御出まう

自動車にて滿洲館上御の御招宴に臨ま

時まで、航空線路は周水子な飛行時間は午前九時から午後

各所豫想時間

けふのフル・マラソン

高級兩切煙草

在復プル・マラソンは脳々け八午。本社主催の第五回本社前祭大衛間 ること、なったが、選手通過學様に沿流を警察署では野意響級に騰時であり又競馬時催期であるため 機会加選手は昨夜歌着し旅師職選 開催全く成り撫順哈顧選よりの沿 後一時本社前か出餐するがすでに ▲水平島 二時三十八分頃 ▲生ヶ浦川門 三時〇分頃 ▲常盤橋 三時三十七分頃 本大廣場 三時四十一分頃

標準加選手は昨夜到着で

むから競出河清

時間たの妃くである

豫想時間

女子庭球選手の さなるべき行為に出づることはて選手に附添ふて走ること又はて選手に附添ふて走ること又は重オートバイその他の方法を以重オートがイをの他の方法を以重なーとがイモールがイモールが、 一日午後十一時

▲ 木社前 一時出象 本大殿場 一時〇二分頃 本常盤橋 一時〇四分頃 本常盤橋 一時〇四分頃 本常と有主門 一時十九分頃 本小平島 一時二十 分頃

着一濃酸の機像 ・変数の機像 門は 業務 上過 物 ら 千天 連署 から 千天 連署 から 千天 

當選者

(七)

閑院若宮殿下

奉天で御見學

東 パンフレット一萬五子郡「健 所に監研され「戦免妻護士郎」「鬼 所に監研され「戦免妻護士郎」「鬼 をさその施設」「概郷の心得」

+

女學生の花賣り

二日から乳幼兒愛護週間

前、速点百貨店前、産連一交番前

會等者能つた婦人関語の應送に得

相合教育

進宗聖公會、 網風

岸田嬢が藝者に

各方面その急テンポに驚く

松は小鳥児童その他の手へ通

大会道 その他の手がなきない。 大会道 その他の手が

取りこの能した表徴する変感歌の はか市内目接の場所二十 所に確 常常概。電前、連鎖部尚電ハスコ

1

百

九

である、因に離熟は否されず炭の側部上りものは流乃原で御訓型 の側部上りものは流乃原で御訓理 の側部上りものは流乃原で御訓理

御献立

お召上りも



#### リバ 居眠り自動車が 東一亞〇 タバコ會社 イバル 力車を將棋倒

音の結果左の通り入賞決定し 無家に覧管用「ポスター」闘家

日夜半、西公園町で

性人は無付くまいが、今に御覧 で事が完成した晩は物質の集院 で事が完成した晩は物質の集院 で事が完成した晩は物質の集院 路」が完成されたのだ。

職品都督は在把数二ヶ年間に数 大線大小延長戦 中の立派・現在 中の立派・現在 日本の立派・現在

(際では家電報が保電さすれば監然 一般では家電報が保電さすれば監然 一般では家電報が保電さすれば監然 を訴がか論示し、南氏も偽電犯人 の捜査につき大連撃市決係に申記 を含す城機である て密かに同氏の名を殴り使ったもない。南氏の記によればこれは明的に成人か同氏の毛神にあれない。 さあり、發信人は但馬町四三南信 しての名誉、信用な毀損されて、同氏はこれがために無行 實に反映してゐることを元マーも 道で一國其時代の文化程度を始 が、あれは輕蔑道路の警察が あが、あれは輕蔑道路の警察が をが、あれは輕蔑道路の警察が をが、あれば軽蔑道路の警察が をが、あれば軽蔑道路の警察が をが、あれば軽減が の大船では一個で 道谷の趣路に注げ」で注告され 「滿洲に行つたら先づ意を裏ら 「滿洲に行つたら先づ意を裏ら 大課長の恰内さんがおつもやま面に関する。 織を築いてある 面には、

片鄉博士雖獎 K 何よりグリコ

一粒三百メートル 元氨は無論 元氨は無論 **阪大。京東** 總 江 社會式排 党十· 党五

三根眼科醫院

端午の節句

£

きの

用

は

花乃屋本店へ ニッ町の

是非

一門吾平椿油 かごや油舗 かごや油舗 新聞の職達上の衛用命は電話へ夜間休日ンニーニ

花見 競馬 郊外

市内營業所六ケ所の內お宅様に最も近い車庫より迅速に配車致します 代表電話 二二二二番 本社前出發

フ

.

7

ラ

午後一

時

午後一時と同七時協和會館 競技の反則行為である、若しか ・る反則行為があつた場合は折 角奮関して居る選手が競技より 角ないから應接者口特にこの點注 ないから應接者口特にこの點注 會

丹後會

御慰め申上げたいさ存じてかり動狀況や研究を言上し御旅情を

玉木 肇(三〇) 新聞 者 吳 赤水 學(三〇) 新聞 者 吳

遊覽飛行

料金一

回五圓

十日か

春競馬

昨日

くりあげて行った結果入場然職入を財馬の総勢レースを第十三回目に駐ケ鴻嶽馬第四日目午後は第十四 午後の成績

中學校生徒四十名、學生監李隆本 社 参観 午後一時遼寧同

せ電報を打ち

電な處置を御教示下さい 連若練町郵便局後で臨時大分縣別 府の凝熱館所有者総職財産氏党に 村電したもので、電交には 社竹上映橋を無條件で平田氏さ 提携する、是非客れさ共同にて 提携する、是非客れさ共同にて 曜の催し

權利横取を企つ

前帝國館主訴へ出づ

社團法人大連競馬俱樂部大連市西公園町六十一番地

城

入會資格滿十四歲以上ノ男女 以上 大連日華自動車學校町四番地

一週間自動車 一週間七圓質費學實料共

講習會會員募集

馬倶樂部に於て入札即時開催昭和六半五月十二日午前十一時大連競

海拉爾附近支那產牝馬五十頭

昭和六年七月一日

随時本校事務所内ニロ頭ニテ申込マレタシ 団城町四大連日華自動車卓校 (毎二龍行) 山城町四大連日華自動車卓校 (毎二龍行) 自動車智識一般普及 日本校内及長者町本校第二練智場 「一城町四大連日華自動車卓校 (毎二龍行)

一月のさなみ

治1



御料理仕出る。

電話三二五三番 名 物散策: さくら

店支連大社會名合納嘉 番五二五五五話電

雷話(極)ニニニー六番

大連市連鎖商店心濟橋通

電話五八四九番